

万博記念公園春の渡り鳥調査結果 (2023 年度)

大阪府日本万国博覧会記念公園事務所

製作：吹田野鳥の会

調査期間 2023 年 4 月 15 日～5 月 5 日

調査目的 渡り鳥が好む環境を知り、鳥が利用する環境を創生するための
植生管理の基礎資料とする

調査対象 ①ヒタキの仲間(ヒタキ科・ムシクイ科・ウグイス科の鳥)

②スズメ科ニュウナイスズメなどの山野の鳥

③コチドリ・タシギなど水辺の鳥

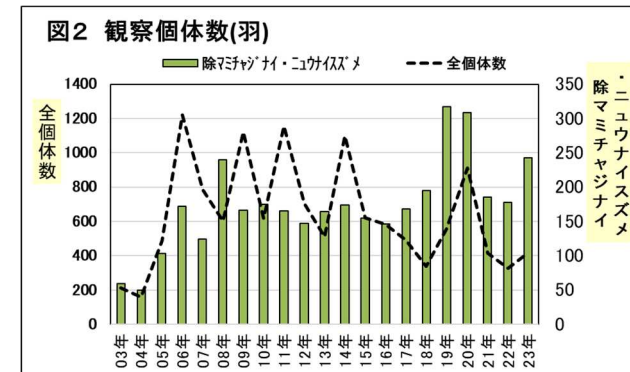
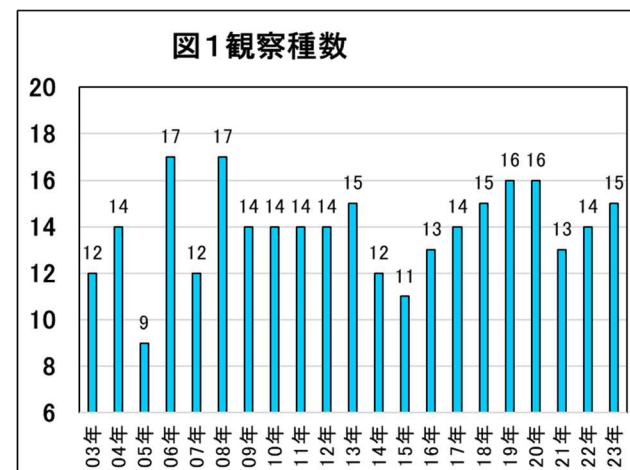
調査方法 園内を一巡し、渡り鳥を観察した数および場所を地図上にプロット

備 考 鳥類目録7版に準拠

1. 春の渡り鳥全般の状況

1) 観察した種類と個体数(図1、図2、別表1、2参照)

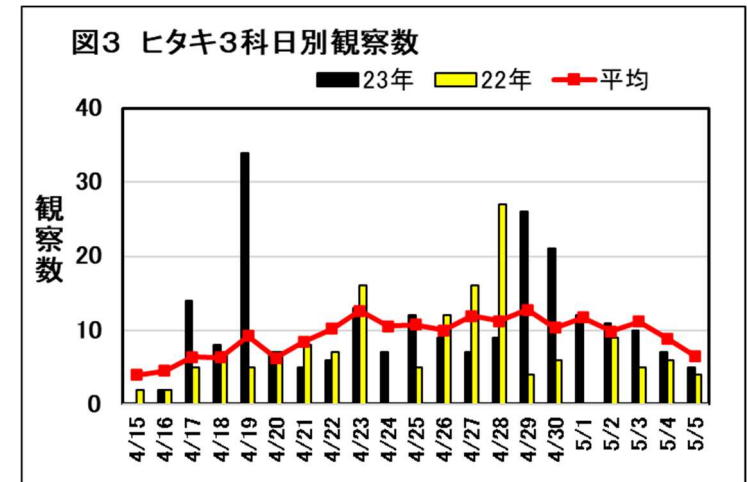
- ・2023 年の渡り鳥の観察種数は 15 種、2021 年 13 種・2022 年 14 種よりも増加し、調査して 21 年間では上位(同率 5 位レベル)に入った。
- ・個体数は 2020 年 911 羽に比べ半減の 420 羽、これまで 21 年間では下位 5 番目の低レベルとなった。しかし、変動の大きいニューナイスズメ(及びマミチャジナイ)を除いた個体数では 243 羽となり、2019 年・2020 年に続き、3 位であった。
- ・チドリ科のコチドリは 2 羽と、昨年と同数の低レベルとなった。
- ・シギ科タシギは昨年 18 羽であったが、今年は 3 羽と大幅減となった。
- ・サンショウクイ科サンショウクイは昨年 2 羽から今年 13 羽と、過去 2 番目の記録となった。
- ・ウグイス科ヤブサメは昨年 1 羽から今年 2 羽となった。
- ・ヨシキリ科オオヨシキリは昨年 1 羽観察したが、今年は確認できなかった。
- ・ムシクイ科ではエゾムシクイが昨年 4 羽から今年 18 羽と過去最大数、センダイムシクイも昨年 28 羽から 43 羽と過去第 3 位の個体数を記録した。
- ・ヒタキ科ツグミ属はアカハラが昨年 30 羽から今年 23 羽と減少したが、クロツグミ 2 羽で昨年と同数、ノゴマ属コマドリ 5 羽(昨年 2 羽)、コルリ 1 羽(昨年 0 羽)と増加した。
- ・ヒタキ科キビタキ属キビタキは 105 羽(昨年 73 羽)に増加、21 年間で 3 位の記録となった。
- ・オオルリ属オオルリは 7 羽(昨年 3 羽で過去最低)となったが、下から 5 番目と低レベルが続いている。
- ・サメビタキ属コサメビタキは 17 羽で、昨年 10 羽より大きく回復、過去 2 番目の記録、ノビタキ属ノビタキは 2 羽(昨年 0 羽)確認した。
- ・スズメ科ニューナイスズメは 177 羽(昨年 150 羽)となったが、下から 5 番目と低レベルが続いている。
- ・サギ科、カッコウ科、アマツバメ科、キツツキ科、カササギヒタキ科、ムクドリ科、ホオジロ科の渡り鳥は、昨年に続いて観察できなかった。



2. ヒタキの仲間の状況

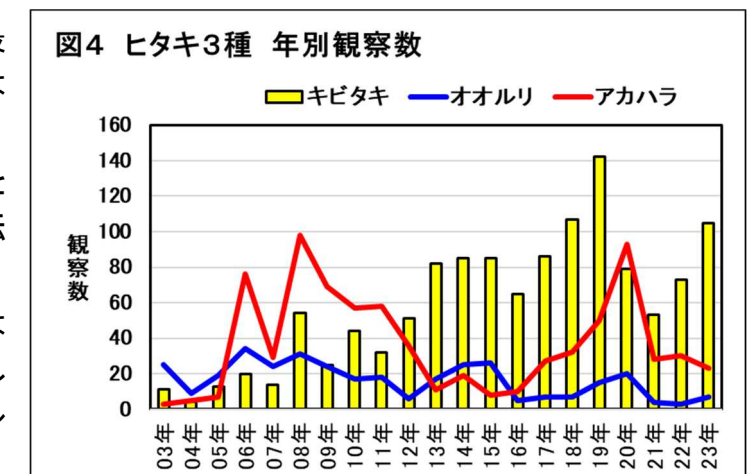
1) ヒタキの仲間の観察数

- ・春の渡り鳥のメイン種であるキビタキ・アカハラ・センダイムシクイを中心とするヒタキの仲間(ヒタキ科、ムシクイ科、ウグイス科)の観察数は 225 羽となり、昨年 153 羽に比し増加となった。
- ・図3に昨年、今年と、これまで 21 年間平均の日別の観察数を示した。今年は 4/19、4/29、4/30に平均を大きく上回る日があり、全体を押し上げる結果となった。



2) ヒタキ科キビタキ、オオルリ、アカハラの年別観察数

- ・ヒタキ科の主要 3 種についての年別観察数を図4に示した。
- ・キビタキはこの調査が始まって以来増加傾向が続き、2019 年には 142 羽と過去最高を記録していたものの、最近 3 年間はその半数程度に落ち込んでいた。今年は 105 羽と過去 3 位を記録し回復基調にある。
- ・これまで万博公園の森の成長が薄暗い林を好むキビタキ増加につながっていると推定してきた。万博公園の森整備部会では「常緑樹林から落葉樹林への樹種転換」が行われているが、キビタキにどう影響するか、来年度以降も注目したい。
- ・オオルリは 2003 年調査開始当初、キビタキの個体数を上回っていた、2006 年には 34 羽と最大数を記録していた。その後低レベルで推移していたが、2020 年は久しぶりに 20 羽に回復したので期待していたが、一昨年 4 羽、昨年 3 羽と最低レベルに落ち込んだ。今年 7 羽に増えたとはいえ、下から 4 位と低レベルが続いている。
- ・アカハラは年により変動があり、2008 年に最大 98 羽を記録したが、翌年以降減少傾向が続き 2015 年には 8 羽と最低を記録した。その後徐々に増加傾向にあり、2020 年は 93 羽と過去2番目を記録したが、一昨年 28 羽、昨年 30 羽、今年 23 羽と 2020 年の 1/3~1/4 の低レベルが続いている。

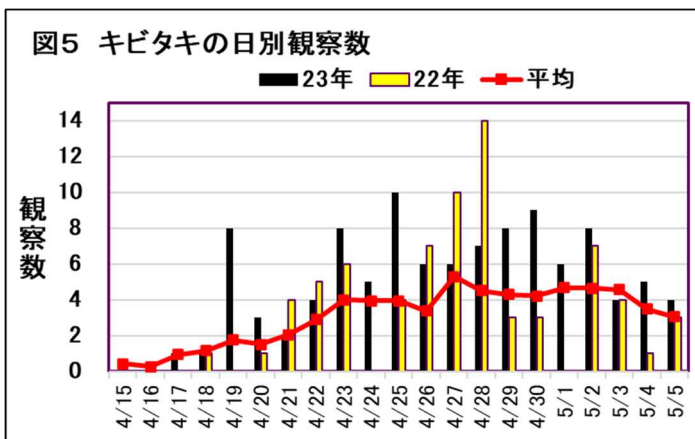




↑写真1 キビタキ 4/20

3)ヒタキ科 キビタキの観察数

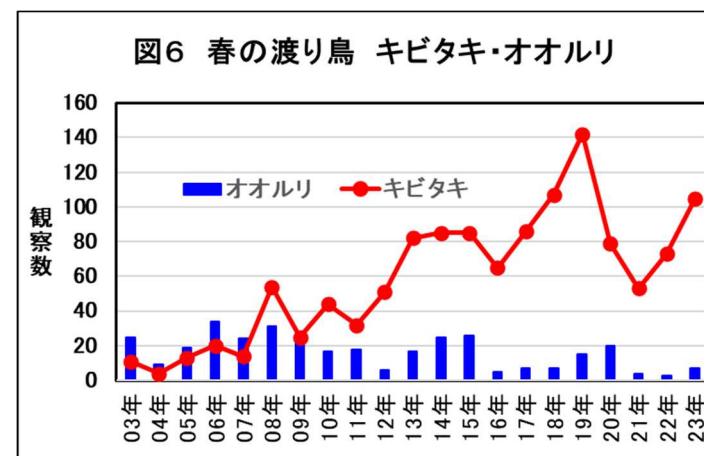
- ・キビタキの昨年と今年、及び 2003～2022 年平均の日別観察数を図5に示す。
- ・今年は 4/17～5/5 連日観察でき、8 羽以上確認した日が 6 日もあったなど、21 年間の平均レベルを上回る日が続いたことから、トータル 105 羽となった。
- ・図6からわかるようにここ 3 年の低レベルを脱し過去第 3 位の個体数となった。



- ・暗い常緑樹林を好むと思われるキビタキが、現在の森づくり計画(目標林型が落葉樹林)が進展した時、どう変化するか、今後の推移を見守りたい。

4)ヒタキ科 オオルリの観察数

- ・オオルリは 2020 年に 20 羽観察し回復したかに思われたが、一昨年 4 羽、昨年 3 羽、今年は少し増えたが 7 羽にとどまっている。
- ・図 6 に示すように、調査をスタート直後の 2003～2007 年はキビタキより多かった。2012 年までの前半 10 年間で 207 羽であったが、2013 年以降後半 11 年間で 136 羽と 2/3 に減少しており、特にここ 3 年は過去最低記録を更新している。
- ・春の渡り時に都市公園を通過する鳥として、また大阪近郊の山地に繁殖する鳥として、「オオルリ」「キビタキ」と並び称されている 2 種であるが、万博公園ではキビタキの後塵を拝している。
- ・森づくりとして落葉樹林を増やす計画が進められているが、両種にどう影響するか注目したい。

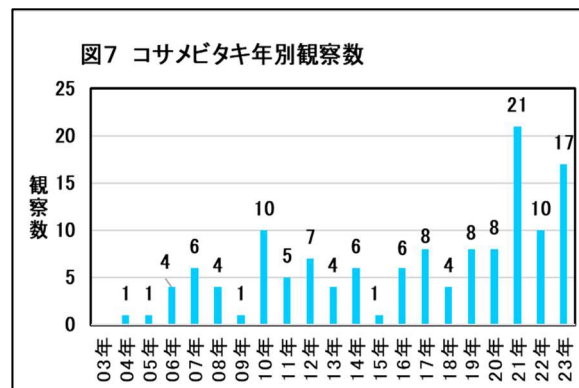




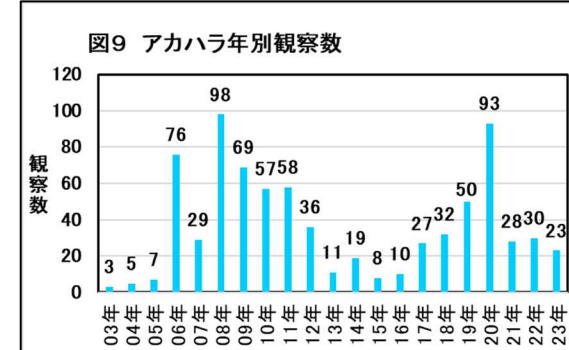
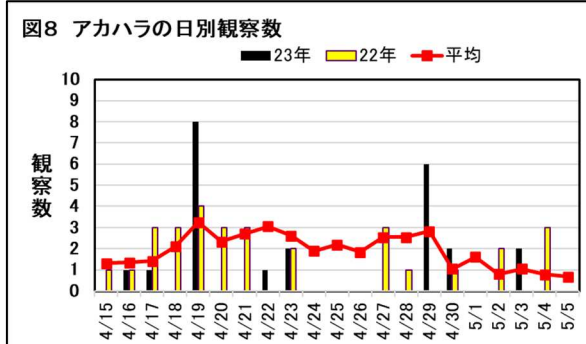
↑ 写真2 コサメビタキ 4/20

5)ヒタキ科コサメビタキ、アカハラ、クロツグミ、コマドリ

- ・図7にコサメビタキは年別観察数を示した。一昨2021年に過去最高21羽、昨年は半減10羽にとどまったが、今年は17羽に回復、過去2位を記録した。
- ・図7により過去からの傾向を見ると、徐々に観察数が増えている状況にある。
コサメビタキが大阪府内の平野部に近い山地で繁殖するケースが出ているので、キビタキに続き、このまま万博公園に残って繁殖することも期待される。



- ・図8にアカハラの日別推移を示した。今年は4/19に8羽、4/29に6羽と、昨年よりピークは高かったが、観察0羽の日が12日と多く、平均的に観察できた昨年よりもトータルは減少した。



- ・この結果、図9のアカハラの年別観察数を見ると、今年は23羽にとどまり、2020年の93羽に比し1/4にとどまった。
- ・これまでの観察数は、
最大2008年98羽(第2位が2020年93羽)
最小2003年3羽(第2位が2004年5羽)
で、毎年観察はしているものの、変動の大きい鳥である。

←写真3 アカハラ 4/29

- ・クロツグミは 2019 年に 11 羽観察したが、2020 年 2 羽、2021 年 1 羽、2022・2023 年とも 2 羽と、低レベルが続いている。20 年間では観察できなかった年が 7 年、1 羽しか観察できなかった年が 4 年と、稀な種であり、やむを得ない。
- ・コマドリは観察個体数が 5 羽(観察日数 4 日)で、2019 年 7 羽(6 日)に続く記録となった。20 年間ではトータル 25 羽観察しているが、観察できなかった年が 11 年もあり、万博公園では非常に稀な鳥である。
- ・コルリは 5/2 に 1 羽観察、21 年間では 7 羽しか観察しておらず、最近では 2019 年 2 羽の以来で記録となった。
- ・ノビタキを 4/17、18 に 1 羽ずつ観察した。21 年間では 21 羽、最近では 2020 年に 2 羽観察している。

写真 4 ノビタキ 4/17 →



6) ムシクイ科センダイムシクイ、エゾムシクイ

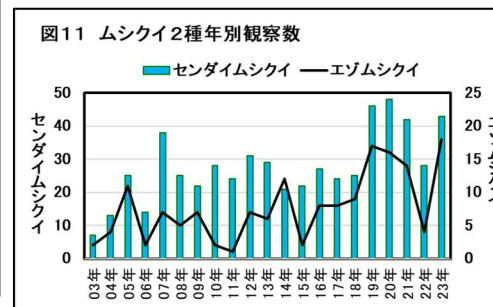
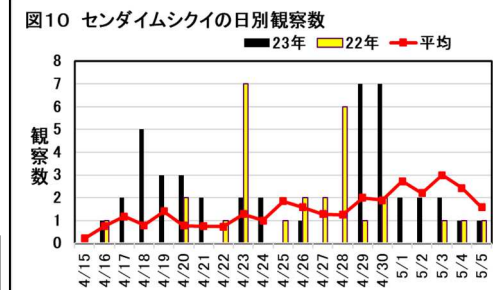
- ・センダイムシクイは昨年 28 羽と少なかったが、今年は 43 羽となり、2019 年～21 年の 40 羽を超える高レベルに戻り、過去 3 番目の記録に回復した。
- ・図 10 でセンダイムシクイの日別推移を見ると、後半 4/29、30 に 7 羽ずつでピークとなった上、調査期間を通じて観察できたことがわかる。
- ・一方エゾムシクイは昨年 4 羽が今年 18 羽と、一昨年の 14 羽を上回り、過去最大数を記録した。
- ・図 11 にセンダイムシクイ・エゾムシクイの年別観察数を示したが、両種とも昨年比急増で過去最高レベルとなっている。この理由が、森づくりの結果とつながるかどうかわかっていない。



写真5 センダイムシクイ 4/29



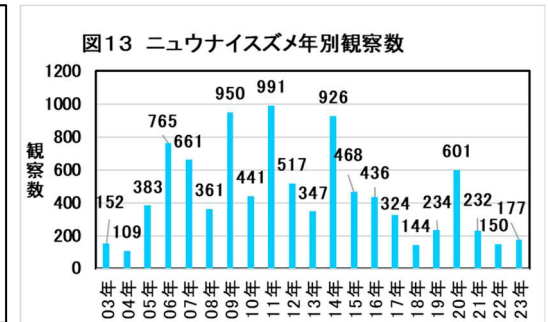
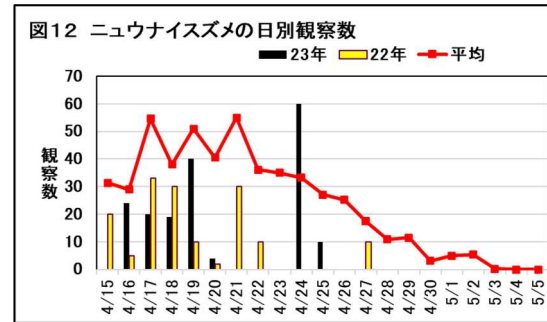
写真6 エゾムシクイ 4/29



3. その他の渡り鳥

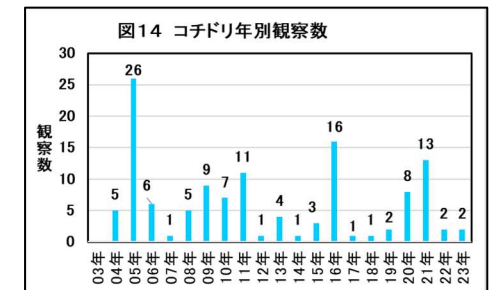
1) スズメ科ニューナイスズメ

- ・ニューナイスズメの渡りは例年 4 月 20 日前後がピークで、5 月初めまで続く筈が、今年はピーク期(4/21～4/23)は 0 羽、24 日に 60 羽(=50 羽+10 羽)のピーク、4/26 には渡りが終わったようで、昨年の 150 羽より少し増加したものの、177 羽にとどまった。
- ・ニューナイスズメはソメイヨシノや、コナラ・アベマキの花芽の中で、50～100 羽の大群を観察していたが、最近は季節変化(植物の春)が早くなった影響か、新緑の中に 10 羽程度の小群での観察が多い。



2) そのほかの渡り鳥

- ・チドリ科チドリは昨年 2 羽と一昨年 13 羽から激減したが、今年も 2 羽にとどまった。
チドリがよく利用していた東の広場で大型イベント開催されたこと、みずすましの池の上流石畳に雑草が繁茂し、エサ取り場所がなくなったためと思われる。
- ・シギ科タシギは昨年過去最高の 18 羽確認したが、今年は 3 羽にとどまった。確認した日が 4/19、4/20、そして 5/2 で、この間 10 日間ほど見つからなかったが、ほぼ同じ「みずすましの池」の上流の草むらだったので、ずっと常住していたにもかかわらず隠れ上手で見つけられなかった可能性がある。
2020 年から 4 年連続に観察されており、ピンポイントで渡来するほど魅力ある、エサの多い場所とも思えないので、なぜ来るのかわからない。
- ・サンショウクイ科サンショウクイが 13 羽(観察日は 5 日、最大日 5 羽)と昨年 2 羽から急回復、2020 年 18 羽に次ぐ記録となった。
- ・ウグイス科ヤブサメが 2 羽(昨年 1 羽)観察できた。これまで 21 年間の観察鵜が 10 羽であり、稀な種である。
- ・サギ科、カッコウ科、アマツバメ科、キツツキ科、カササギヒタキ科、ムクドリ科、ホオジロ科の渡り鳥は観察できなかった。



4. 冬鳥ほか

1) ヒタキ科ツグミ、シロハラ

- ・2006 年よりツグミ・シロハラの冬鳥についてもカウントを開始している。

当初ツグミは 1000 羽を越える年が多かったが、2010 年 1400 羽をピークに徐々に減少傾向となり、2018 年は 358 羽まで減少した。2020 年は一転して 1469 羽と過去最高を記録するも、昨 2022 年が 527 羽、今年は 491 羽と、下から 2 番目と(2018 年に次ぐ)低記録であった。(図 15)

- ・図 16 に去年・今年の日別推移と、これまでの平均観察数と比較して示したが、日々の観察個体数が調査開始日から平均より少なく、しかも終認が昨年 4/28、今年 5/2 と早いことも、トータル観察数の大幅ダウンに影響している。
- ・一方シロハラは 2019 年 324 羽を記録した後、徐々に減少し今年は 174 羽となっている。終認日が 4/28 と早く、日々の観察数も平均より低レベルの日が多かった。

2) カモ科、ハト科、クイナ科など

- ・カモ科では冬鳥のカモが一度も観察できなかった。
- ・ハト科のアオバトは期間中に 1 回 1 羽を観察した。
- ・クイナ科オオバン、昨年は 9 回観察できたが、今年は 1 度も観察できなかった。
- ・タカ科では、オオタカが 7 回も観察できた。
これまで 2012 年に 13 回、2011 年 8 回観察した年には、万博公園でオオタカが繁殖・子育てをしていた。ここ 10 年近く万博公園でオオタカの子育ては見えていないが、今年は、繁殖の可能性があることから、早朝調査期間の終了後、オオタカの調査を実施することとした。

図 15 ツグミ・シロハラ年別観察数

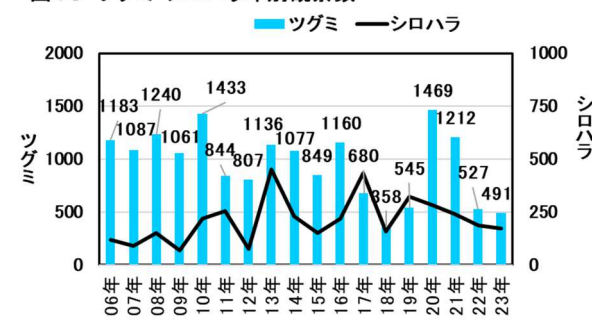


図 16 ツグミの日別観察数

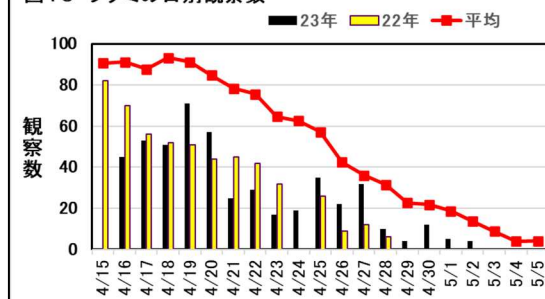


図 17 シロハラの日別観察数

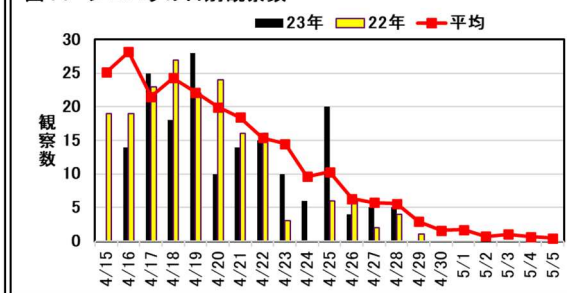


写真8 オオタカ 4/29



写真7 ツグミ 4/29

・ノスリが 4/29 に 1 回観察できた。

・ハヤブサ科ではチョウゲンボウが 4/29 に 1 回観察された。

写真 9 ノスリ 4/29 →



3) アトリ科マヒワ・アトリ・シメ、ホオジロ科アオジ、セキレイ科ビンズイ (表1)



・アトリ科の 3 種はいずれも、越冬数が変動する鳥。中でもマヒワ、2011 年に 2000 羽近くカウントしたが、観察できない年が多く、昨年に続き今年も全く観察できなかった。

・アトリ・シメも最大 400 羽前後～0 羽の間で変動しているが、今年はアトリが 84 羽、シメ 23 羽で昨年より大幅減、毎年アトリ科の鳥が良く観察できるハルニレの木に全く観察できない日が多かった。

・アオジは、ホオジロ科の鳥で唯一毎年(冬)観察できる鳥であるが、今年は 4/19 に 10 羽観察したものの、観察できない日が 10 日もありトータル 35 羽にとどまり、カウントしている 14 年間で、下から 2 番目と少なかった。

表 1 その他冬鳥 写真 10 シメ 4/29

科名	種名	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	計	年平均
	マヒワ	0	1964	0	726	0	2	72	0	0	0	0	544	0	0	3308	254
アトリ	アトリ	286	11	0	39	23	113	109	55	387	20	375	38	202	84	1742	134
	シメ	206	440	0	123	70	3	123	55	23	226	204	10	73	23	1556	120
ホオジロ	アオジ	81	36	51	52	84	38	64	52	45	72	124	30	51	35	815	63
セキレイ	ビンズイ	17	7	0	3	8	4	1	11	2	5	8	9	18	3	96	7

これら 5 種の鳥は 2010 年からカウントしている。

万博探鳥会を開始した頃、植えられた木が小さく、園内が草地状態にあったため、草の実を主食にしているホオジロ科の鳥が多かった。ホオジロが園内で繁殖し、冬鳥のカシラダカ・ミヤマホオジロも良く観察できたが、今はアオジが観察できるのみである。

・セキレイ科ビンズイは 1 羽ずつ 3 回 3 羽の観察にとどまり、昨年 18 羽に比し大幅減にとどまった。

・今は冬鳥となっているモズ科モズ、5/1 終認まで 4 回確認されているので、今年は繁殖するかも、と期待したが、残念ながら渡去してしまった。

写真 11 モズ 4/29 →

5. 留鳥その他

①怪我したハクセキレイ お祭り広場西側の落葉樹林に、時々片足で移動するものの、すぐに地面に座るハクセキレイがいた。怪我をしたハクセイレイの若鳥が、昨 2022 年 9 月にほぼ同じ場所にいたのを確認しているので、同一個体と思われ、今まで生きていたと推定される。



写真 12 2022/9/27

怪我したハクセキレイ



写真 13 2023/5/4

②エナガ幼鳥の臉

図鑑に「エナガ幼鳥の臉は赤」と記載されており、図鑑では見るが実際に見たことがなかった。今回、臉の赤い幼鳥を撮影できたので、写真を紹介する。



写真 14 エナガ幼鳥 5/4



③キツツキ科コゲラ、万博公園で毎年繁殖しているが、今年も繁殖期特有の「ギー」と鳴く声を聞き、調査日は全日、生息を確認したので、今年も繁殖間違いなしである。

写真 15 コゲラ 4/29

④カラスの枝落とし新バージョン？

「クヌギ・アベマキの枝落とし」

写真 16 枝落とし時の状況→

カラスが液果(クスノキなどの実)を食べるとき、木の枝を引っ張ることから、木の根元に実のついた小枝が落ちている現象が見られるようになった。この「液果が熟する」頃その木の下に、実のついた小枝が落とされている現象「カラスによる枝落とし」が、観察できるようになって 10 年ほどになる。しかも万博公園ではエドヒガン・オオシマザクラ・ヤマモモ・エノキ・タブノキ・アカメガシワ・コブシ・ナンキンハゼ・クスノキと 10 種ほどに広がっているのを確認している。

今年の早朝調査時、5/3～5/5 に液果ではないクヌギ・アベマキの小枝が、数 10 羽のカラスにより落とされる所を確認し、カラスの枝落とし新バージョンと思った。

枝落としの目的は何かわからなかったが、落とした葉に幼虫がいたので、幼虫を食べるためかとも思ったが、液果ほど量がないので、枝落としする意味がわからないまま 5/5 で早朝調査を終えた。



早朝調査の終わった 5/6 以降状況を観察していなかったが、5/13 定例探鳥会の日に確認した所、

写真 17 落とした葉に幼虫

- ・5/3～5/5 のクヌギ・アベマキ周辺にカラスが 1 羽もない

- ・5/3～5/5 に落とされた小枝の葉が枯れている

ことで、5/6 以降は新しく葉が落とされていないらしいことがわかった。

このため、カラスが何故クヌギ・アベマキの枝を落としたのか、目的・理由がわからないまま終わった。来年度、同じ光景を確認できるかどうか、注目したい。もし、枝落としがされるならば、その理由を解明したい。



6. トータル観察種(別表-3、4)

- ・今年調査期間中に観察したトータルの種数は 55 種で、昨年より 1 種増でこれまで 21 年間の平均レベル 54 種を上回った。しかし、21 年間で過去最高となった 2020 年 63 種より 8 種減であった。(図 18 参照)
 - ・今年の日別観察種数は平均種で 29.9 種にとどまり、過去最高 2020 年 35.0 種から、21 年 33.4 種、22 年 31.8 種と漸減している。
- 図 19 からは前半の 4/17, 4/19 に 21 年間平均を大きく上回った日があったものの、冬鳥の渡去が早かったこともあって、それ以外で平均を上回る日がないまま終わった。
- ・全種の一覧表を別表 3、4 に示した。
 - ・今年は調査した 20 日間とも観察できた種は 15 種で、昨年より 2 種減となった。

カルガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ

- ・昨年全日観察できて今年観察できなかったのはキジバト、ツバメの 2 種、逆に昨年全日観察できなくて、今年前日観察できた鳥はいなかった。
- ・今年の調査種数は 55 種となったが、昨年観察できなかった鳥で今年観察できた種はバン、ノスリ、チョウゲンボウ、モズ、コルリ、ノビタキ、イソヒヨドリ、キセキレイ 8 種、逆に昨年観察できたが今年観察できなかった種に、オカヨシガモ、オオバン、ケリ、トビ、ハイタカ、オオヨシキリ、トラツグミと 7 種で、1 種増となった。
- ・この 20 年間の調査期間(4/15~5/5)に初めて観察できた種はノスリで 1 種であった。

図 18 年別トータル観察種数

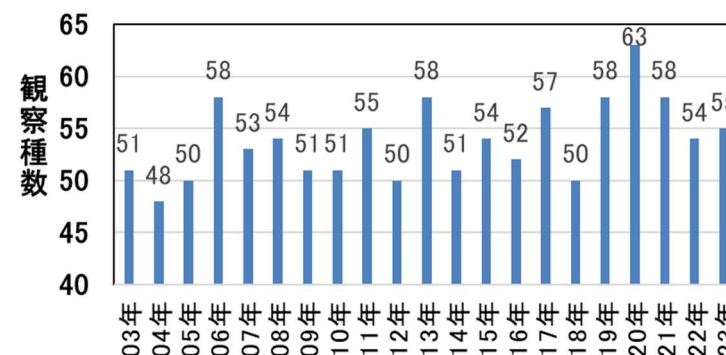
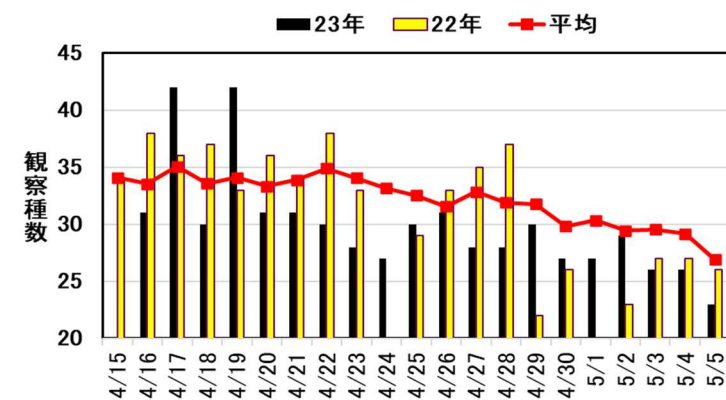


図 19 観察種数 日別推移



- ・別表 4 より 2003 年～2023 年の 21 年間に延べ 419 日間調査しているが、この調査期間のすべての日に観察した種はハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラの 3 種であった。
尚、スズメは初年度 2003 年に観察してない日が 1 日あり 418 日となったが、なぜかわからない。
- ・一方で、21 年間の調査日 419 日に 1 日のみしか観察していない種としては、キジ（2012 年）、オカヨシガモ（2022 年）、チュウサギ（2012 年）、クイナ（2014 年）、ムナグロ（2006 年）、ダイゼン（2010 年）、クサシギ（2006 年）、ユリカモメ（2003 年）、サシバ（2015 年）、ノスリ（2023 年）、サンコウチョウ（2016 年）、ジョウビタキ（2020 年）、ウソ（2013 年）、ホオアカ（2013 年）の 14 種記録されている。
- ・このうちキジについては本来留鳥の筈が、樹林の生長（による草はらの消滅）で万博公園にいなくなった種である。
- ・チュウサギ、ムナグロ、ダイゼンは夏鳥であるが、休憩できる水辺がないため東の広場などに一時的に休んでいるところを確認されたものである。最近早朝調査期に東の広場を利用する大型行事が多くなっており、今後も観察機会が少ないと思われる。
サシバは上空を通過するのみの種であるため、これからの観察を期待したい。
- ・サンコウチョウは万博公園の樹林の生長により通過時の観察増が期待される鳥であるが、幾分遅く渡る鳥なので、調査期間内の観察は少ないと思われる。
- ・オカヨシガモ・ジョウビタキは冬鳥として観察できる鳥なので、春の渡り調査時まで残ることが期待される。
中でもジョウビタキは毎冬の万博探鳥会で複数羽観察できる鳥であるが、渡去日がツグミなどに比べると早いようで、早朝調査を開始する 4/15 にはいなくなっていて調査結果に出ていない種である。
- ・ホオアカは 2013 年に東の広場で観察した。
日本野鳥の会大阪支部が毎月定例開催している万博探鳥会でも観察したことがなく、またその後の早朝調査でも観察していないので、万博公園で野鳥観察を始め 38 年間で、この早朝調査での観察 1 回のみの記録となっている。

7. 渡り鳥の観察場所について(別図①～⑤)

渡り鳥調査の標準コース図を別図⑥に、観察した場所を別図①～⑤に示した。

⑥ 2022 年渡り鳥調査 標準コース図 (参考)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| ①-①2023 年、①-②2022 年 | ヒタキ科キビタキ、オオルリ、コサメビタキ |
| ②-①2023 年、②-②2022 年 | ヒタキ科アカハラ、クロツグミ、コマドリ、コルリ、ノビタキ |
| ③-①2023 年 ③-②2022 年 | ムシクイ科センダイムシクイ、エゾムシクイ |
| ④-①2023 年、④-②2022 年 | スズメ科ニュウナイスズメ |
| ⑤-①2023 年、⑤-②2022 年 | コチドリ、タシギ、サンショウクイ、ヤブサメ、オオヨシキリ |

春の渡り鳥として、多くの個体数を観察できたキビタキ、アカハラ、センダイムシクイ、ニュウナイスズメなどを中心に渡り鳥の好む場所を記述してみる。

① キビタキは自然文化園内の上津道・中津道間の常緑樹林を中心に利用しているのは昨年と同様である。

水車小屋～けやきの丘間や、もみの池～自然観察学習館間の中津道・上津道間の樹林、あじさいの森～民俗学博物館間の上津道北側樹林などで多かった。

② アカハラは日本庭園・旋律の鯉池の西側樹林、梅林北側落葉樹林などで観察できたほか、園内の各所で数羽確認できた。

③ センダイムシクイは、上津道・中津道周辺の常緑樹林を中心に分布していた。

④ ニュウナイスズメは日本庭園東側樹林にまとまっており、一度 50 羽以上の群を確認し、10 羽の群も何回かあった。

20 年前の調査開始当初はサクラの花やクヌギ(＋アベマキ)の花芽周辺に多かったが、今はサクラやクヌギの開花が早くなり花のシーズンが終わっていることもあってか、大きな群れでの観察は少なくなっている。

⑤ サンショウクイが園内の林で 1～3 羽で計 13 羽観察できたが、同じ場所ではないため、どこがサンショウクイの好む場所かわからなかった。タシギは昨年 18 羽に対し今年は 3 羽にとどまったが、昨年と同じみずすましの池だったので、餌場として気に入っていると思われる。

⑥ 現在の森づくりは以前の「自立した森づくり」より、広い面積で常緑樹林→落葉樹林への転換が行われている。

その影響(効果)はまだ分からないが、遊歩道両側の伐採影響を含め、声でしか確認できなかった鳥の、姿を探す頻度を上げることができたので、今後を期待したい。

以上

別表1 2023年 万博公園 早朝調査時に観察した渡り鳥の個体数

No	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	23年	22年	前年比	23年個体数				
																											4/15～4/21	4/22～4/28	4/29～5/5		
1	サギ	ササゴイ																													
2	カッコウ	ホトトギス	雨天中止																												
3	カッコウ	ツツドリ																													
4	アマツバメ	アマツバメ																													
5	チドリ	ムナグロ																													
6	チドリ	ダイゼン																													
7	チドリ	コチドリ							2																2	2					
8	シギ	セイタカシギ																													
9	シギ	タシギ					1	1												1					3	18	▲15		2		1
10	シギ	チュウシャクシギ																													
11	シギ	クサシギ																													
12	キツツキ	アリスイ																													
13	サンショウクイ	サンショウクイ			5		3		2			1		2											13	2	+11		10	3	
14	カササギヒタキ	サンコウチョウ																													
15	ウグイス	ヤブサメ					1			1															2	1	+1		1	1	
16	ムシクイ	メボソムシクイ																													
17	ムシクイ	エゾムシクイ					6								1		5	3	3						18	4	+14		6	1	11
18	ムシクイ	センダイムシクイ		1	2	5	3	3	2		2	2		1			7	7	2	2	2	2	1	1	43	28	+15		16	5	22
19	ヨシキリ	オオヨシキリ																								1	▲1				
20	ムクドリ	コムクドリ																													
21	ヒタキ	クロツグミ			1		1																		2	2			2		
22	ヒタキ	マミチャジナイ																													
23	ヒタキ	アカハラ		1	1		8			1	2						6	2				2			23	30	▲7		10	3	10
24	ヒタキ	コマドリ			1		2		1		1														5	2	+3		4	1	
25	ヒタキ	コルリ																		1					1		+1				1
26	ヒタキ	ノビタキ			1	1																			2		+2		2		
27	ヒタキ	コサメビタキ			7	1	3	1					2			1						2			17	10	+7		12	3	2
28	ヒタキ	キビタキ			1	1	8	3	2	4	8	5	10	6	6	7	8	9	6	8	4	5	4		105	73	+32		15	46	44
29	ヒタキ	オオルリ					2							2		1			1			1			7	3	+4		2	3	2
30	スズメ	ニューナイスズメ		24	20	19	40	4				60	10												177	150	+27		107	70	
31	ホオジロ	ノジコ																													
32	ホオジロ	クロジ																													
渡り鳥合計				26	39	27	78	12	9	6	13	68	22	11	7	9	26	21	12	12	10	7	5		420	326	+94		191	136	93
渡り鳥 種数計																					15	14	+1		14	10	8				

調査者数	0	3	4	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	4	2	4	4	3	3	3	3	66	76
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

ウグイス・ムシクイ・ヒタキ 3科合計	ウグイス科					1			1															2	1	+1
	ムシクイ科		1	2	5	9	3	2		2	2		1	1		12	10	5	2	2	1	1	61	32	+29	
	ヒタキ科		1	12	3	24	4	3	5	11	5	12	8	6	9	14	11	7	9	8	6	4	162	120	+42	
	ウグイス・ムシクイ・ヒタキ 3科合計		2	14	8	34	7	5	6	13	7	12	9	7	9	26	21	12	11	10	7	5	225	153	+72	
												ウグイス・ムシクイ・ヒタキ3科 種数計												11	9	+9

別表2 2003年～2023年 万博公園早朝調査時に観察した春の渡り鳥

(前半・後半)

																									(前年-後年)		
科名	種名	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	前年比	個体数計	03-12年	13-23年	
サギ	ササゴイ		1		1						1					1								4	3	1	
カッコウ	ホトギス											2			1									3	0	3	
	ツツドリ						1						1			2								4	1	3	
アマツバメ	アマツバメ				3		3				1													7	7	0	
チドリ	ムナグロ				2																			2	2	0	
	ダイゼン								1															1	1	0	
	コチドリ		5	26	6	1	5	9	7	11	1	4	1	3	16	1	1	2	8	13	2	2		124	71	53	
シギ	セイタカシギ																		4					4	0	4	
	タシギ					1			1										5	1	18	3	▲15	29	2	27	
	チュウシャクシギ										1													1	1	0	
	クサシギ			1																				1	1	0	
キツツキ	アリスイ				1			1			1			1		1	1							6	2	4	
サンショウクイ	サンショウクイ						2	1		8		1		2	5	1	2	13	18	4	2	13	+11	72	11	61	
カササギヒタキ	サンコウチョウ														1									1	0	1	
ウグイス	ヤブサメ	2				1		4													1	2	+1	10	7	3	
ムシクイ	メボソムシクイ	2	1		2				2	1							1	1						10	8	2	
	エゾムシクイ	2	4	11	2	7	5	7	2	1	7	6	12	2	8	8	9	17	14	14	4	18	+14	160	48	112	
	センダイムシクイ	7	13	25	14	38	25	22	28	24	31	29	21	22	27	24	25	46	48	42	28	43	+15	582	227	355	
ヨシキリ	オオヨシキリ	1			1		1			2	2	1	1			2	1	2	5	3	1		▲1	23	7	16	
ムクドリ	コムクドリ						1	1				4					1	1						8	2	6	
ヒタキ	クロツグミ	2	2		1		5	2	2	4		1	1					11	2	1	2	2		38	18	20	
	マミチャジナイ				282		2	5		1	40				1	1		6	1					339	330	9	
	アカハラ	3	5	7	76	29	98	69	57	58	36	11	19	8	10	27	32	50	93	28	30	23	▲7	769	438	331	
	コマドリ	2	1						1				2		2		2	7		1	2	5	+3	25	4	21	
	コルリ		1				2					1						2				1	+1	7	3	4	
	ノビタキ				5	2	3		3	1	3								2			2	+2	21	17	4	
	コサメビタキ		1	1	4	6	4	1	10	5	7	4	6	1	6	8	4	8	8	21	10	17	+7	132	39	93	
	キビタキ	11	4	13	20	14	54	25	44	32	51	82	85	85	65	86	107	142	79	53	73	105	+32	1230	268	962	
	オオルリ	25	9	19	34	24	31	24	17	18	6	17	25	26	5	7	7	15	20	4	3	7	+4	343	207	136	
スズメ	ニューナイスズメ	152	109	383	765	661	361	950	441	991	517	347	926	468	436	324	144	234	601	232	150	177	+27	9369	5330	4039	
ホオジロ	ノジコ					1													3					4	1	3	
	クロジ	2	3											5			2							12	5	7	
	全個体数	211	159	486	1219	785	603	1121	616	1157	704	511	1100	623	583	493	339	557	911	417	326	420	+94	13341	7061	6280	
	除マミチャジナイ・ニューナイスズメ	59	50	103	172	124	240	166	175	165	147	164	174	155	146	168	195	317	309	185	176	243	+67	3633	1401	2232	

種数	12	14	9	17	12	17	14	14	14	14	15	12	11	13	14	15	16	16	13	14	15	+1
----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

調査日	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	+1	419
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

別表3-1 2023年 早朝調査時に観察した鳥リスト(全種)

目録 No.	No.	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	23年観 察日数	22年観 察日数	前年比 増減	23年 個体 数	22年 個体 数	前年比 増減	
5	1	キジ	キジ																												
24	2	カモ	オシドリ																												
26	3	カモ	オカヨシガモ																							1					
27	4	カモ	ヨシガモ																												
28	5	カモ	ヒドリガモ																												
30	6	カモ	マガモ		○	○	○							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	13	10	+3				
46	7	カモ	キンクロハジロ																												
32	8	カモ	カルガモ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1				
62	9	カイツブリ	カイツブリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1				
74	10	ハト	キジバト		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		19	19					
78	11	ハト	アオバト				○																		1	3	▲2		4	▲4	
127	12	ウ	カワウ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1				
139	13	サギ	ゴイサギ																												
141	14	サギ	ササゴイ																												
144	15	サギ	アオサギ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	17	+3				
146	16	サギ	ダイサギ		○	○			○	○				○	○							○			7	16	▲9				
147	17	サギ	チュウサギ																												
148	18	サギ	コサギ		○			○		○	○		○	○		○	○	○				○		○	11	3	+8				
166	19	クイナ	クイナ																												
174	20	クイナ	バン			○			○																2		+2				
175	21	クイナ	オオバン																							9	▲9		10	—	
185	22	カッコウ	ホトギス																												
187	23	カッコウ	ツツドリ																												
192	24	アマツバメ	アマツバメ																												
195	25	チドリ	ケリ																							4	▲4				
197	26	チドリ	ムナグロ																												
199	27	チドリ	ダイゼン																												
203	28	チドリ	コチドリ							2																1	2	▲1	2	2	
210	29	シギ	セイタカシギ																												
219	30	シギ	タシギ					1	1												1					3	9	▲6	3	18	▲15
227	31	シギ	チュウシャクシギ																												
239	32	シギ	クサシギ																												
286	33	カモメ	ユリカモメ																												
339	34	ミサゴ	ミサゴ																												

別表3-2 2022年 早朝調査時に観察した鳥リスト(全種)

目録 No.	No.	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	23年観 察日数	22年観 察日数	前年比 増減	23年 個体数	22年 個体数	前年比 増減	
342	35	タカ	トビ																							1		▲1			
354	36	タカ	ツミ																												
355	37	タカ	ハイタカ																							1		▲1			
356	38	タカ	オオタカ			2			1					1		1	1	2		1						7	2	+5	9		9
357	39	タカ	サシバ																												
358	40	タカ	ノスリ															1								1		+1			
383	41	カワセミ	カワセミ			○	○	○	○		○	○		○	○	○	○		○			○	○	○		14	12	+2			
388	42	キツツキ	アリスイ																												
390	43	キツツキ	コゲラ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1			
397	44	キツツキ	アオゲラ																												
401	45	ハヤブサ	チョウゲンボウ									1														1		+1	1		1
407	46	ハヤブサ	ハヤブサ																												
412	47	サンショウクイ	サンショウクイ			5		3		2			1		2											5	2	+3	13	4	9
418	48	カササギヒタキ	サンコウチョウ																												
420	49	モズ	モズ							○	○							○		○						4		+4			
427	50	カラス	カケス																												
435	51	カラス	ハシボソガラス		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1			
436	52	カラス	ハシブトガラス		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1			
442	53	シジュウカラ	ヤマガラ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1			
443	54	シジュウカラ	ヒガラ																												
445	55	シジュウカラ	シジュウカラ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1			
452	56	ヒバリ	ヒバリ																												
457	57	ツバメ	ツバメ		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	19				
461	58	ツバメ	イワツバメ					○						2	3											3	3		5		5
463	59	ヒヨドリ	ヒヨドリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1			
464	60	ウグイス	ウグイス		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1			
465	61	ウグイス	ヤブサメ					1			1															2	1	+1	2		2
466	62	エナガ	エナガ		○	○		○		○	○	○	○		○		○				○	○	○	○		13	14	▲1			
477	63	ムシクイ	メボソムシクイ																												
479	64	ムシクイ	エゾムシクイ					6								1		5	3	3						5	3	+2	18	14	4
480	65	ムシクイ	センダイムシクイ		1	2	5	3	3	2		2	2		1			7	7	2	2	2	1	1		16	13	+3	43	42	1
485	66	メジロ	メジロ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1			
492	67	ヨシキリ	オオヨシキリ																								1	▲1		3	▲3
501	68	レンジャク	ヒレンジャク																												
506	69	ムクドリ	ムクドリ		○	○		○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	19	▲2			
508	70	ムクドリ	コムクドリ																												

別表3-3 2022年 早朝調査時に観察した鳥リスト(全種)

目録 No.	No.	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	23年観 察日数	22年観 察日数	前年比 増減	23年 個体数	22年 個体数	前年比 増減	
514	71	ヒタキ	トラツグミ																							2		▲2		2	▲2
518	72	ヒタキ	クロツグミ			1		1																	2	2		2	2		
520	73	ヒタキ	マミチャジナイ																												
521	74	ヒタキ	シロハラ		14	25	18	28	10	14	15	10	6	20	4	5	5								13	14	▲1	174	188	▲14	
522	75	ヒタキ	アカハラ		1	1		8			1	2						6	2			2			8	13	▲5	23	30	▲7	
525	76	ヒタキ	ツグミ		45	53	51	71	57	25	29	17	19	35	22	32	10	4	12	5	4				17	13	+4	491	527	▲36	
530	77	ヒタキ	コマドリ			1		2		1		1													4	1	+3	5	2	3	
534	78	ヒタキ	コルリ																			1			1		+1	1		1	
536	79	ヒタキ	ルリビタキ																												
540	80	ヒタキ	ジョウビタキ																												
542	81	ヒタキ	ノビタキ			1	1																		2		+2	2		2	
549	82	ヒタキ	イソヒヨドリ																				○	1		+1					
554	83	ヒタキ	コサメビタキ			7	1	3	1					2			1					2			7	7		17	10	7	
558	84	ヒタキ	キビタキ			1	1	8	3	2	4	8	5	10	6	6	7	8	9	6	8	4	5	4	19	15	+4	105	73	32	
561	85	ヒタキ	オオルリ					2							2		1			1			1		5	2	+3	7	3	4	
568	86	スズメ	ニュウナイスズメ		24	20	19	40	4				60	10											7	9	▲2	177	150	27	
569	87	スズメ	スズメ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1				
573	88	セキレイ	キセキレイ			○																			1		+1				
574	89	セキレイ	ハクセキレイ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1				
575	90	セキレイ	セグロセキレイ		○	○	○	○																	4	16	▲12				
580	91	セキレイ	ビンズイ			1		1			1														3	10	▲7	3	18	▲15	
586	92	アトリ	アトリ			13	1	40	30																4	10	▲6	84	202	▲118	
587	93	アトリ	カワラヒワ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	19	+1				
588	94	アトリ	マヒワ																												
599	95	アトリ	ウソ																												
600	96	アトリ	シメ		1	12		1						1		1		5	2						7	13	▲6	23	73	▲50	
602	97	アトリ	イカル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	18	15	+3				
610	98	ホオジロ	ホオジロ																												
614	99	ホオジロ	ホオアカ																												
617	100	ホオジロ	カシラダカ																												
623	101	ホオジロ	ノジコ																												
624	102	ホオジロ	アオジ		2	5		10		1	3	2		4	6			1					1		10	12	▲2	35	51	▲16	
625	103	ホオジロ	クロジ																												
計				中止	31	42	30	42	31	31	30	28	27	30	31	28	28	30	27	27	29	26	26	23	597	604	▲7				
23年 調査人員数				中止	3	4	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	4	2	4	4	3	3	3	3	66	76					

別表4－1 2003年～2023年 早朝調査時の鳥の観察回数(日数)

目録 No.	No.	科名	種名	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	全観察 日数	観察年 回数
5	1	キジ	キジ										1												1	1
24	2	カモ	オシドリ			1	2	15								2			1		1	3			25	7
26	3	カモ	オカヨシガモ																				1		1	1
27	4	カモ	ヨシガモ															16	21						37	2
28	5	カモ	ヒドリガモ			1				1	1			1			3	5		2					14	7
30	6	カモ	マガモ	9	15	17	20	13	14		13	1	9	3	4	3	13			3	10	13	10	13	183	18
46	7	カモ	キンクロハジロ													20									20	1
32	8	カモ	カルガモ	18	16	20	21	20	20	20	18	19	20	20	20	6	20	20	21	21	21	18	19	20	398	21
62	9	カイツブリ	カイツブリ	16	18	20	21	20	20	20	18	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	414	21
74	10	ハト	キジバト	18	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	19	416	21
78	11	ハト	アオバト	1	4	1	6		2		2	1	8	1	2	3		1	6	2	8		3	1	52	17
127	12	ウ	カワウ	18	13	19	21	20	20	17	13	17	20	19	20	19	19	19	20	21	20	18	19	20	392	21
139	13	サギ	ゴイサギ				1														4				5	2
141	14	サギ	ササゴイ		1		1						1					1							4	4
144	15	サギ	アオサギ	15	13	18	16	16	14	18	16	16	19	16	18	19	15	14	18	18	19	17	17	20	352	21
146	16	サギ	ダイサギ			2	3	3	6	8	14	18	13	11	8	6	6	13	1	5	1	6	16	7	147	19
147	17	サギ	チュウサギ										1												1	1
148	18	サギ	コサギ	6	12	3	15	15	6	19	9	12	12	8	5	3	4	4		3	19	15	3	11	184	20
166	19	クイナ	クイナ												1										1	1
174	20	クイナ	バン	11		13	8	13		2			4	14	3	12	19	17			2			2	120	13
175	21	クイナ	オオバン																			16	9		25	2
185	22	カッコウ	ホトギス											1			1								2	2
187	23	カッコウ	ツツドリ						1						1			2							4	3
192	24	アマツバメ	アマツバメ				1		2				1												4	3
195	25	チドリ	ケリ				1	3	1	2		2		3	1					2	1	2	4		22	11
197	26	チドリ	ムナグロ				1																		1	1
199	27	チドリ	ダイゼン								1														1	1
203	28	チドリ	コチドリ	3	5	12	4	1	5	9	6	5	1	3	1	1	8	1	1	1	6	12	2	1	88	21
210	29	シギ	セイタカシギ																		4				4	1
219	30	シギ	タシギ								1										4	1	9	3	18	5
227	31	シギ	チュウシャクシギ					1					1												2	2
239	32	シギ	クサシギ			1																			1	1
286	33	カモメ	ユリカモメ	1																					1	1
339	34	ミサゴ	ミサゴ				1										1	1		1		2			6	5

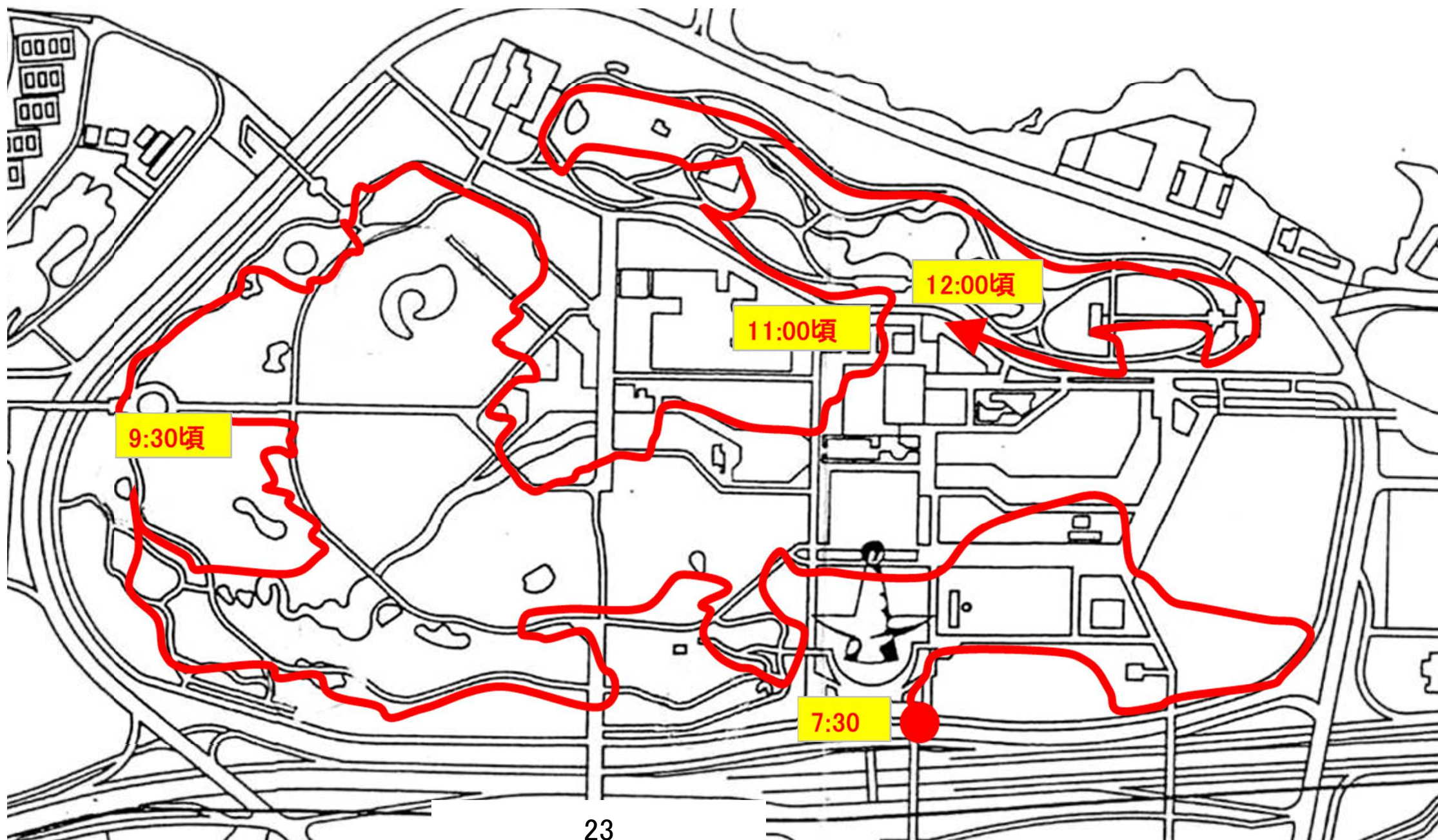
別表4-2 2003年～2023年 早朝調査時の鳥の観察回数(日数)

目録 No.	No.	科名	種名	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	全観察 日数	観察年 回数
342	35	タカ	トビ									1	1					1		1	1		1		6	6
354	36	タカ	ツミ				1				1														2	2
355	37	タカ	ハイタカ			2		2				1								2	4	1	1		13	7
356	38	タカ	オオタカ	2	1	1	2	7	6	5	8	13	1	5		2	2	1	3	1	1	1	2	7	71	20
357	39	タカ	サシバ													1									1	1
358	40	タカ	ノスリ																				1		1	1
383	41	カワセミ	カワセミ	1	6	6	11	16	7	2	3	3	6	4	5	6	11	18	12	15	15	13	12	14	186	21
388	42	キツツキ	アリスイ				1			1				1		1		1	1						6	6
390	43	キツツキ	コゲラ	19	16	18	21	20	20	20	19	20	21	20	19	19	19	20	21	21	21	18	19	20	411	21
397	44	キツツキ	アオゲラ	2				1																	3	2
401	45	ハヤブサ	チョウゲンボウ													2	1	6	1	1	2	1		1	15	8
407	46	ハヤブサ	ハヤブサ			2							1												3	2
412	47	サンショウクイ	サンショウクイ						2	1		2		1		2	2	1	1	7	6	3	2	5	35	13
418	48	カササギヒタキ	サンコウチョウ														1								1	1
420	49	モズ	モズ		1	3				1	1	1		7	1	9	14	6			1	8		4	57	13
427	50	カラス	カケス			5		2				2													9	3
435	51	カラス	ハシボソガラス	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	419	21
436	52	カラス	ハシブトガラス	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	419	21
442	53	シジュウカラ	ヤマガラ	10	10	13	18	19	17	17	17	16	18	17	18	16	17	18	21	21	21	17	19	20	360	21
443	54	シジュウカラ	ヒガラ															2							2	1
445	55	シジュウカラ	シジュウカラ	20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	419	21
452	56	ヒバリ	ヒバリ														1			1					2	2
457	57	ツバメ	ツバメ	15	15	20	21	19	20	19	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	19	408	21
461	58	ツバメ	イワツバメ																		1		3	3	7	3
463	59	ヒヨドリ	ヒヨドリ	20	16	18	21	18	20	18	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	411	21
464	60	ウグイス	ウグイス	11	17	7	6	6	9	14	18	20	20	19	19	20	20	10	14	16	21	18	19	20	324	21
465	61	ウグイス	ヤブサメ	2				1	3														1	2	9	5
466	62	エナガ	エナガ	13	12	14	16	18	18	18	17	15	18	16	17	18	19	17	18	18	20	16	14	13	345	21
477	63	ムシクイ	メボソムシクイ	2	1		2				2	1							1	1					10	7
479	64	ムシクイ	エゾムシクイ	2	2	7	1	4	5	5	1	1	4	4	4	2	5	6	4	5	6	5	3	5	81	21
480	65	ムシクイ	センダイムシクイ	7	8	10	7	9	11	10	11	11	11	11	10	13	11	10	12	13	17	9	13	16	230	21
485	66	メジロ	メジロ	20	17	20	21	20	20	18	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	416	21
492	67	ヨシキリ	オオヨシキリ	1			1		1			2	2	1	1			2	1	2	4	3	1		22	13
501	68	レンジャク	ヒレンジャク				5	2							1						4				12	4
506	69	ムクドリ	ムクドリ	20	18	20	21	18	20	20	18	19	21	20	20	20	20	20	21	21	20	18	19	17	411	21
508	70	ムクドリ	コムクドリ						1	1				1					1	1					5	5

別表4-3 2003年～2023年 早朝調査時の鳥の観察回数(日数)

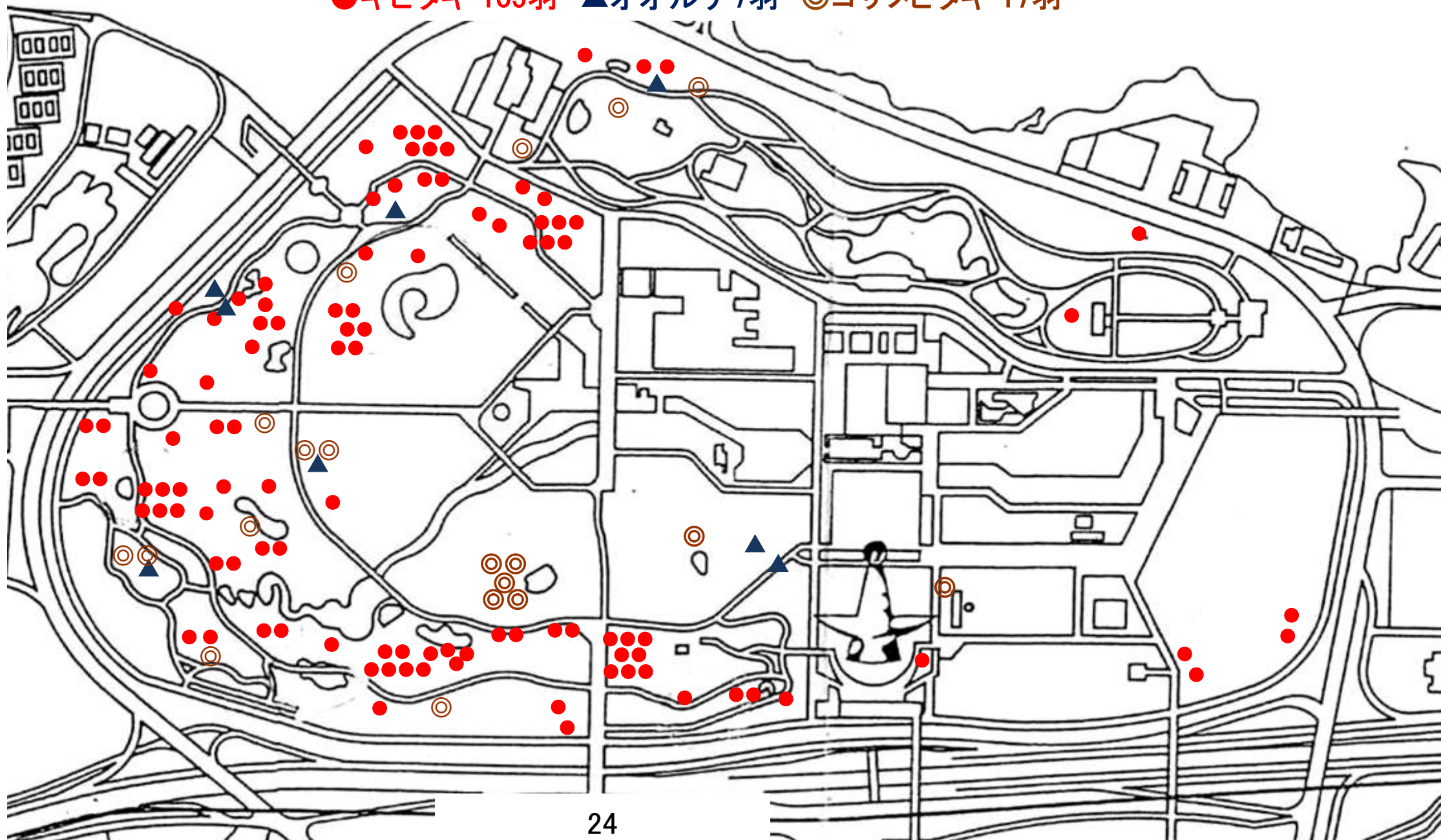
目録 No.	No.	科名	種名	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	全観察 日数	観察年 回数
514	71	ヒタキ	トラツグミ	1						1		1						1			2	1	2		9	7
518	72	ヒタキ	クロツグミ	2	2		1		5	2	2	4		1	1					9	2	1	2	2	36	14
520	73	ヒタキ	マミチャジナイ				21		2	4		1	11				1	1		5	1				47	9
521	74	ヒタキ	シロハラ	14	10	13	21	20	18	14	17	18	17	18	14	13	16	19	16	19	21	14	14	13	339	21
522	75	ヒタキ	アカハラ	3	4	6	17	11	18	17	14	18	11	8	10	8	7	16	15	19	19	12	13	8	254	21
525	76	ヒタキ	ツグミ	20	18	17	21	20	19	20	19	20	14	20	19	18	19	20	20	19	21	18	13	17	392	21
530	77	ヒタキ	コマドリ	2	1						1				2		2		2	6		1	1	4	22	10
534	78	ヒタキ	コルリ		1				2					1						2				1	7	5
536	79	ヒタキ	ルリビタキ	1		3	5	2	4		4	4		3	2	4		3			1	2			38	13
540	80	ヒタキ	ジョウビタキ																		1				1	1
542	81	ヒタキ	ノビタキ				4	2	1		3	1	2								1			2	16	8
549	82	ヒタキ	イソヒヨドリ													1						1		1	3	3
554	83	ヒタキ	コサメビタキ		1	1	3	6	4	1	7	3	5	3	4	1	5	6	3	5	8	7	7	7	87	20
558	84	ヒタキ	キビタキ	9	4	9	13	9	17	11	14	15	17	17	18	20	16	19	20	20	17	13	15	19	312	21
561	85	ヒタキ	オオルリ	8	6	9	18	10	12	10	10	9	4	11	11	15	4	6	6	13	9	3	2	5	181	21
568	86	スズメ	ニュウナイスズメ	5	8	12	14	13	12	15	14	16	13	15	12	10	7	11	7	10	13	7	9	7	230	21
569	87	スズメ	スズメ	19	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	418	21
573	88	セキレイ	キセキレイ						8	1				1	1	1			3	1	1	1		1	19	10
574	89	セキレイ	ハクセキレイ	10	7	10	12	14	14	16	11	20	21	17	10	12	20	14	18	19	19	17	19	20	320	21
575	90	セキレイ	セグロセキレイ	12	16	18	19	19	19	19	16	14	19	13	2	12	16	10	15	18	19	12	16	4	308	21
580	91	セキレイ	ビンズイ	7	3	5	4	2	8	5	5	5	3	4	6	2	2	8	1	5	5	6	10	3	99	21
586	92	アトリ	アトリ	3	12	4	1	14	6	12	9	3		7	8	6	7	9	10	6	17	8	10	4	156	20
587	93	アトリ	カワラヒワ	19	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	19	20	21	21	21	18	19	20	417	21
588	94	アトリ	マヒワ	7				4		14		18		11		1	3					8			66	8
599	95	アトリ	ウソ											1											1	1
600	96	アトリ	シメ	10	11	6	17	9	17	20	18	20		13	15	2	14	16	7	20	21	8	13	7	264	20
602	97	アトリ	イカル	13	18	17	14	20	16	18	14	17	14	16	20	13	19	20	20	17	21	17	15	18	357	21
610	98	ホオジロ	ホオジロ		2															1		1			4	3
614	99	ホオジロ	ホアカ											1											1	1
617	100	ホオジロ	カシラダカ											1				1							2	2
623	101	ホオジロ	ノジコ					1													2				3	2
624	102	ホオジロ	アオジ	17	14	15	13	18	16	14	15	13	16	16	15	14	14	14	11	15	19	9	12	10	300	21
625	103	ホオジロ	クロジ	2	2											3			2						9	4
計				51	48	50	58	53	54	51	51	55	50	58	51	54	52	57	50	58	63	58	54	55		103
	観察日数			20	18	20	21	20	20	20	19	20	21	20	20	20	20	20	21	21	21	18	19	20	419	

別図①（参考） 2023年春の渡り鳥調査 標準コース図（20230410）



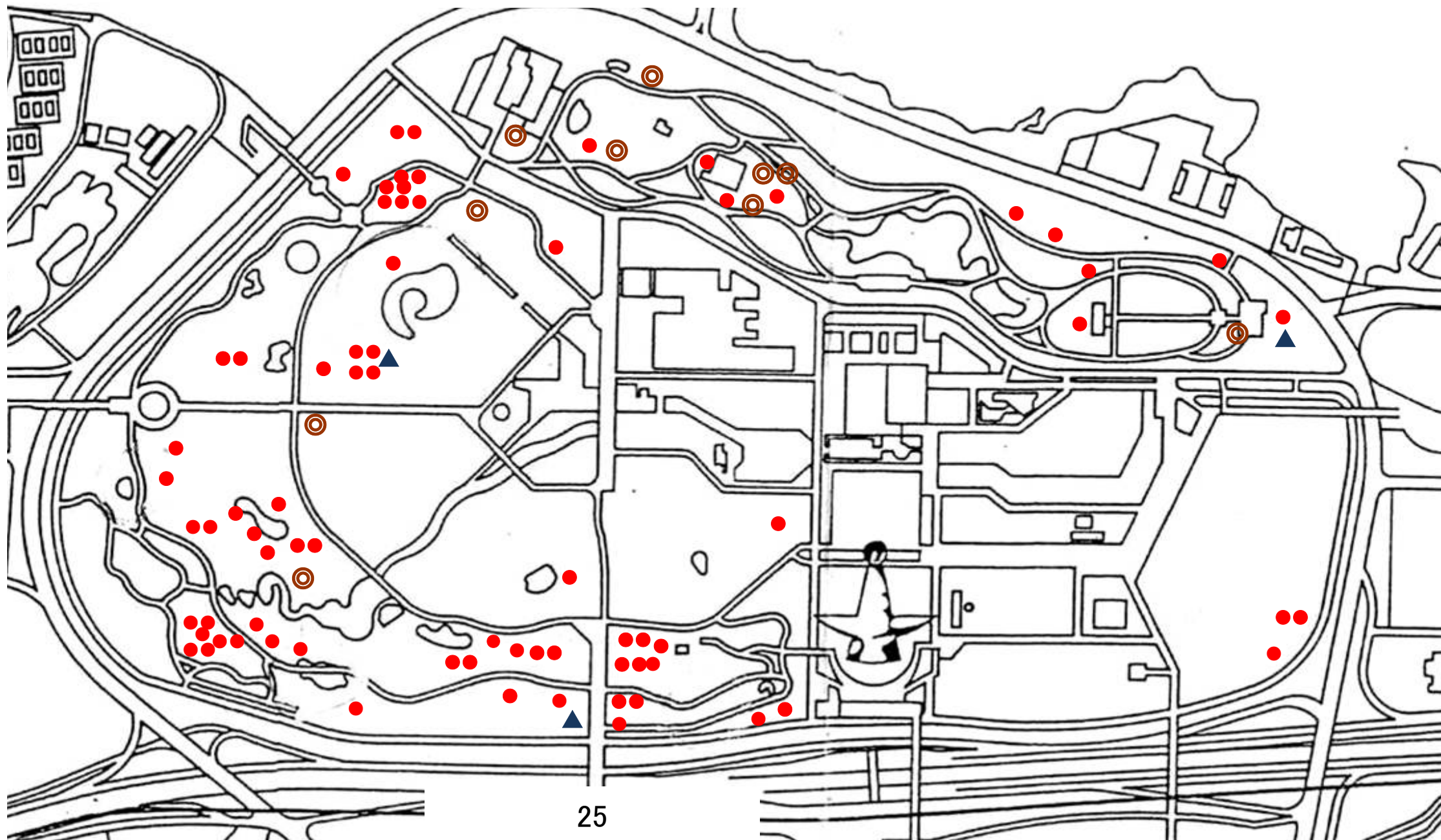
別図①-① 2023年春の渡り鳥 ヒタキ科(キビタキ属、オオルリ属、サメビタキ属)

●キビタキ 105羽 ▲オオルリ 7羽 ◎コサメビタキ 17羽



別図①-② 2022年春の渡り鳥 ヒタキ科(キビタキ属、オオルリ属、サメビタキ属)

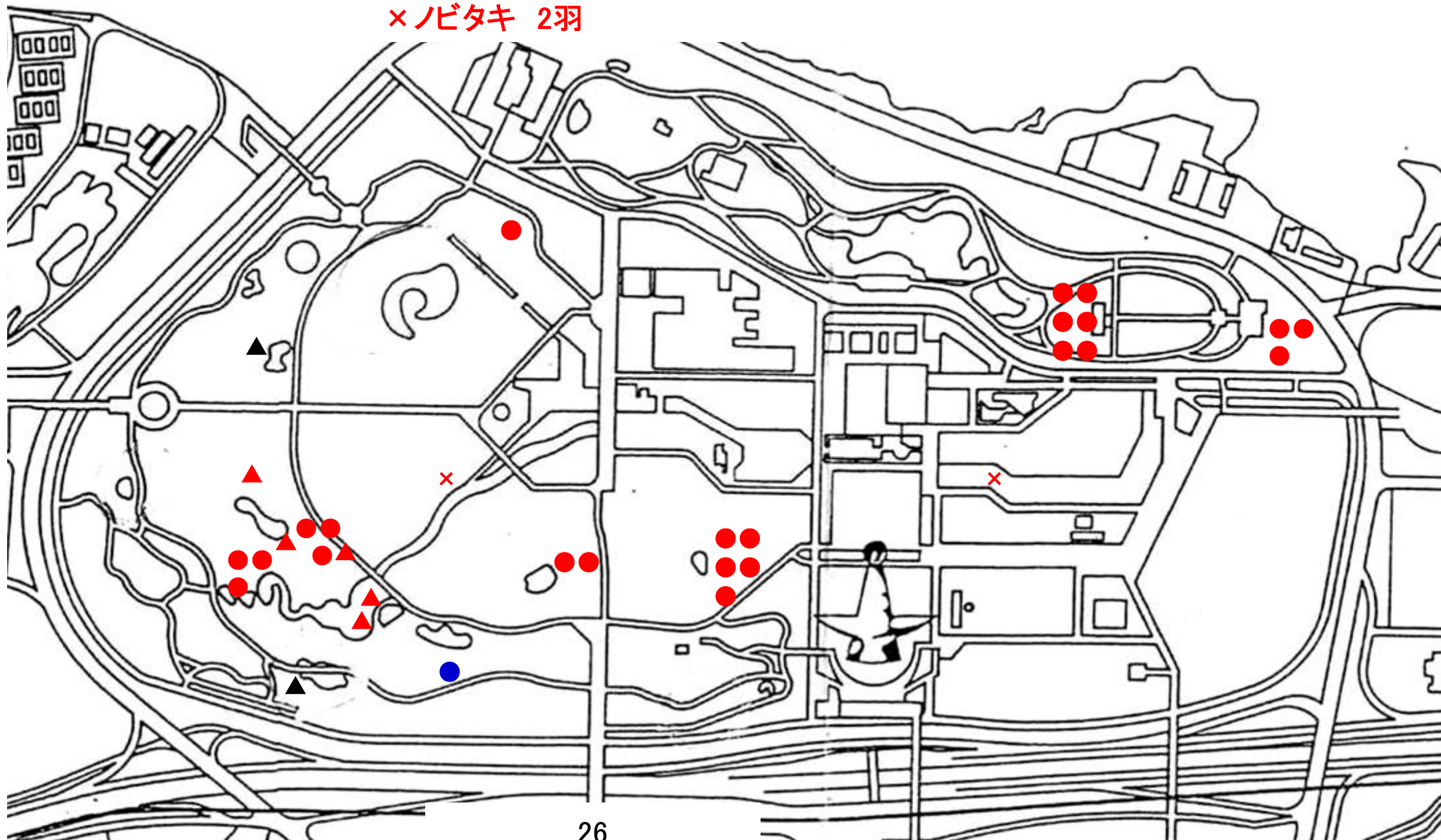
●キビタキ 73羽 ▲オオルリ 3羽 ◎コサメビタキ 10羽



別図②-①

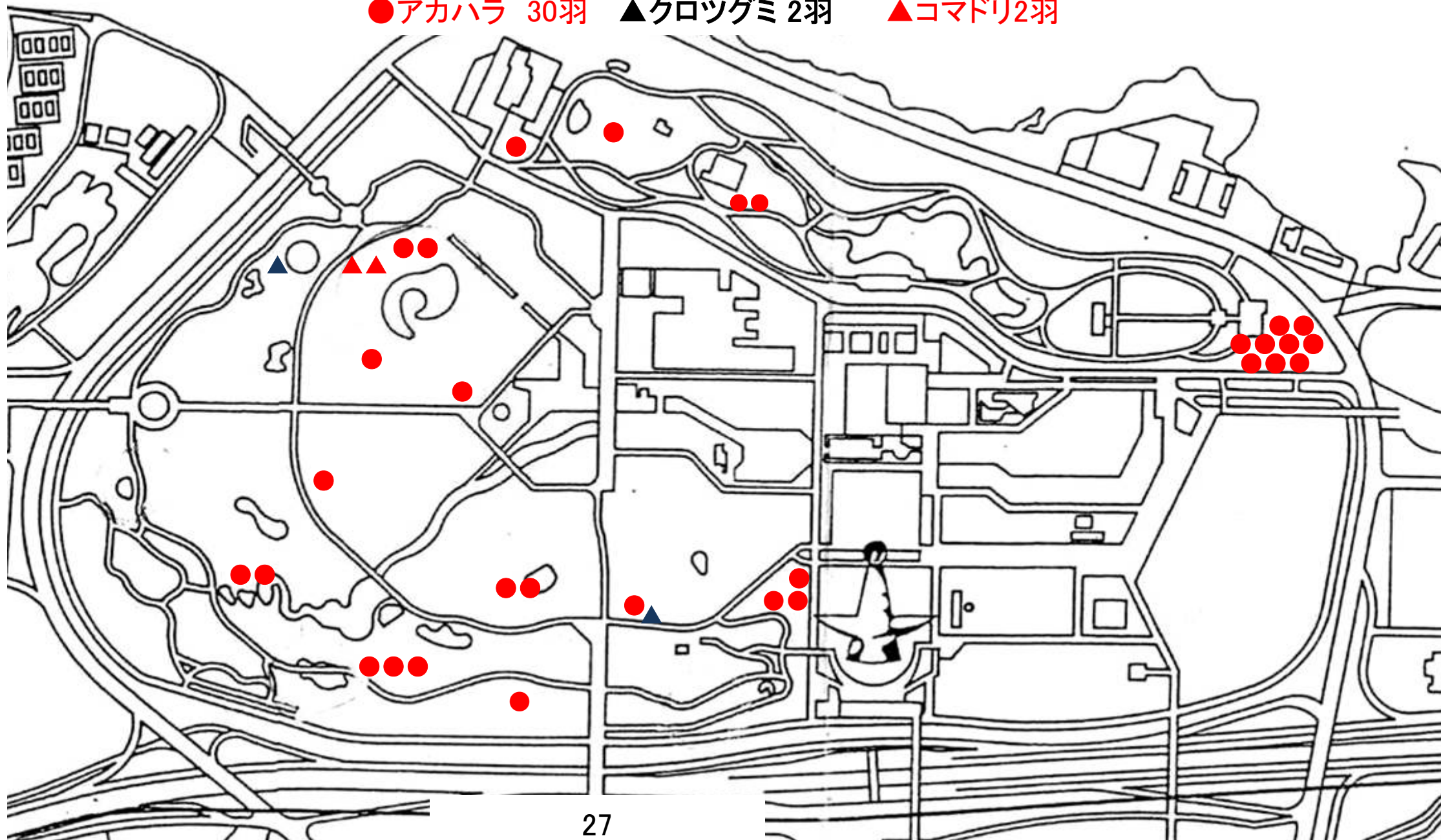
2023年春の渡り鳥 ヒタキ科ツグミ属、コマドリ属

●アカハラ 23羽 ▲クログミ 2羽 ▲コマドリ5羽 ●コルリ1羽
×ノビタキ 2羽



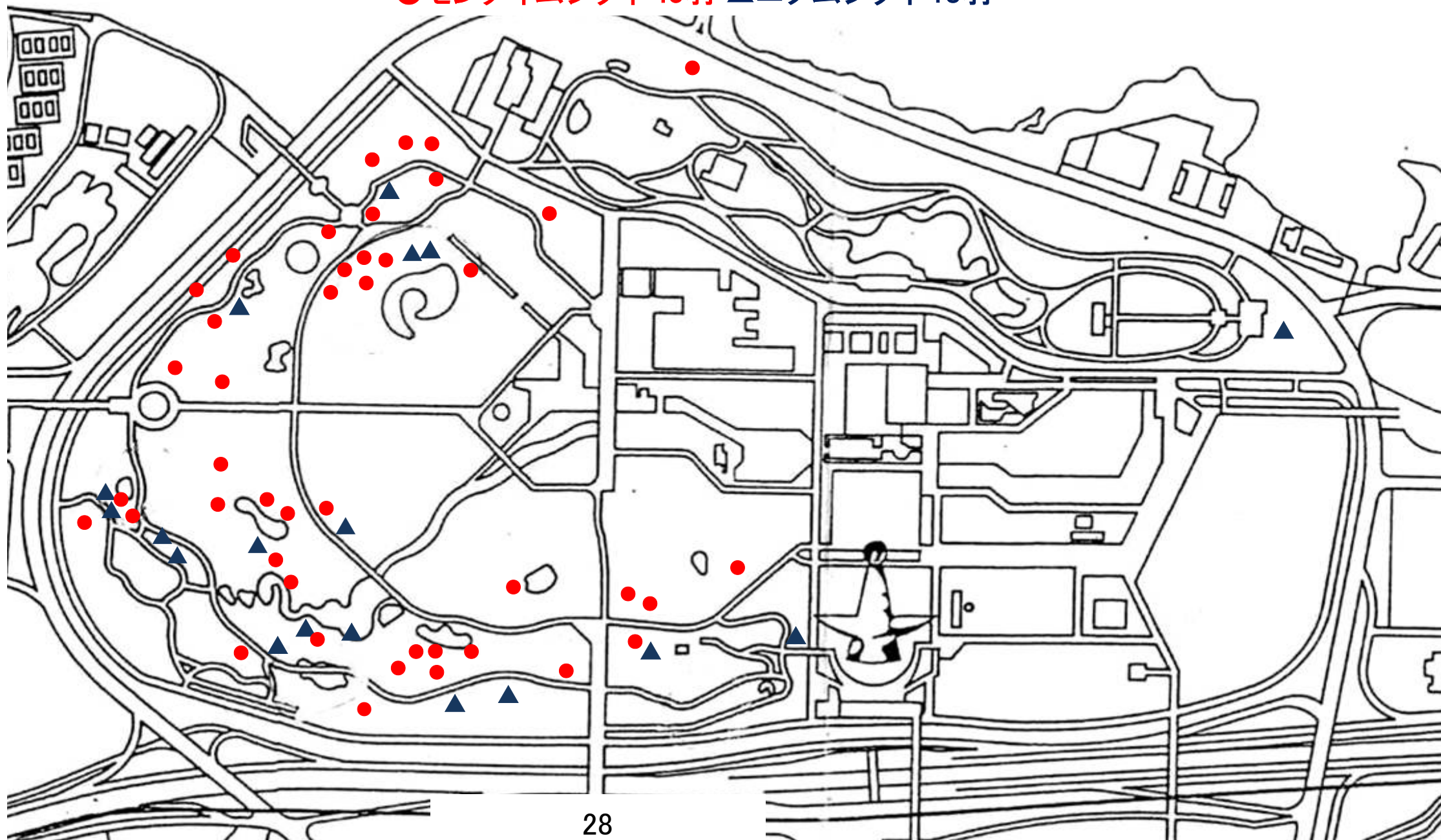
別図②-② 2022年春の渡り鳥 ヒタキ科ツグミ属

●アカハラ 30羽 ▲クロツグミ 2羽 ▲コマドリ2羽



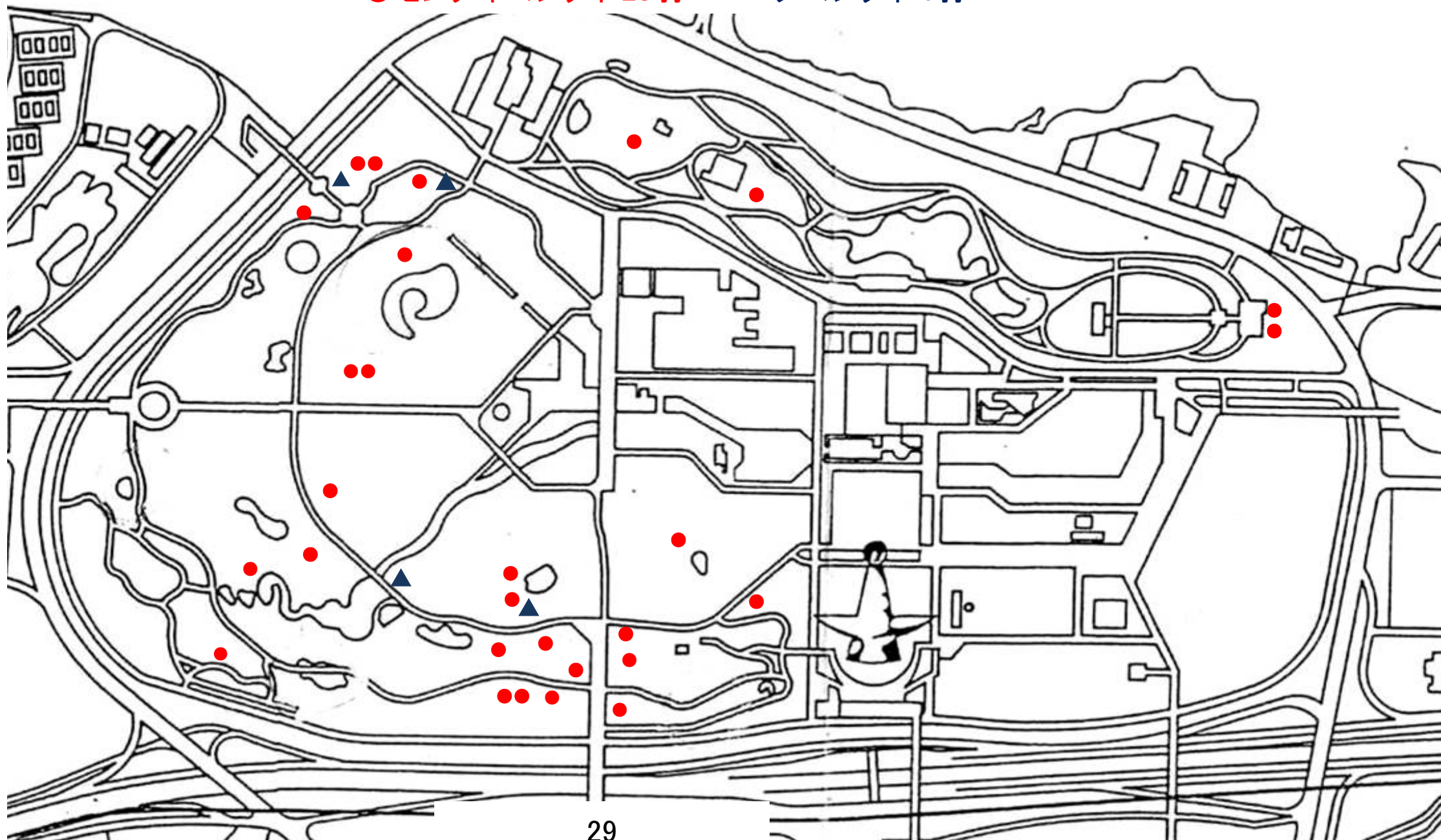
別図③-① 2023年春の渡り鳥 ムシクイ科

●センダイムシクイ 43羽 ▲エゾムシクイ 18羽



別図③-② 2022年春の渡り鳥 ムシクイ科

●センダイムシクイ 28羽 ▲エゾムシクイ 4羽

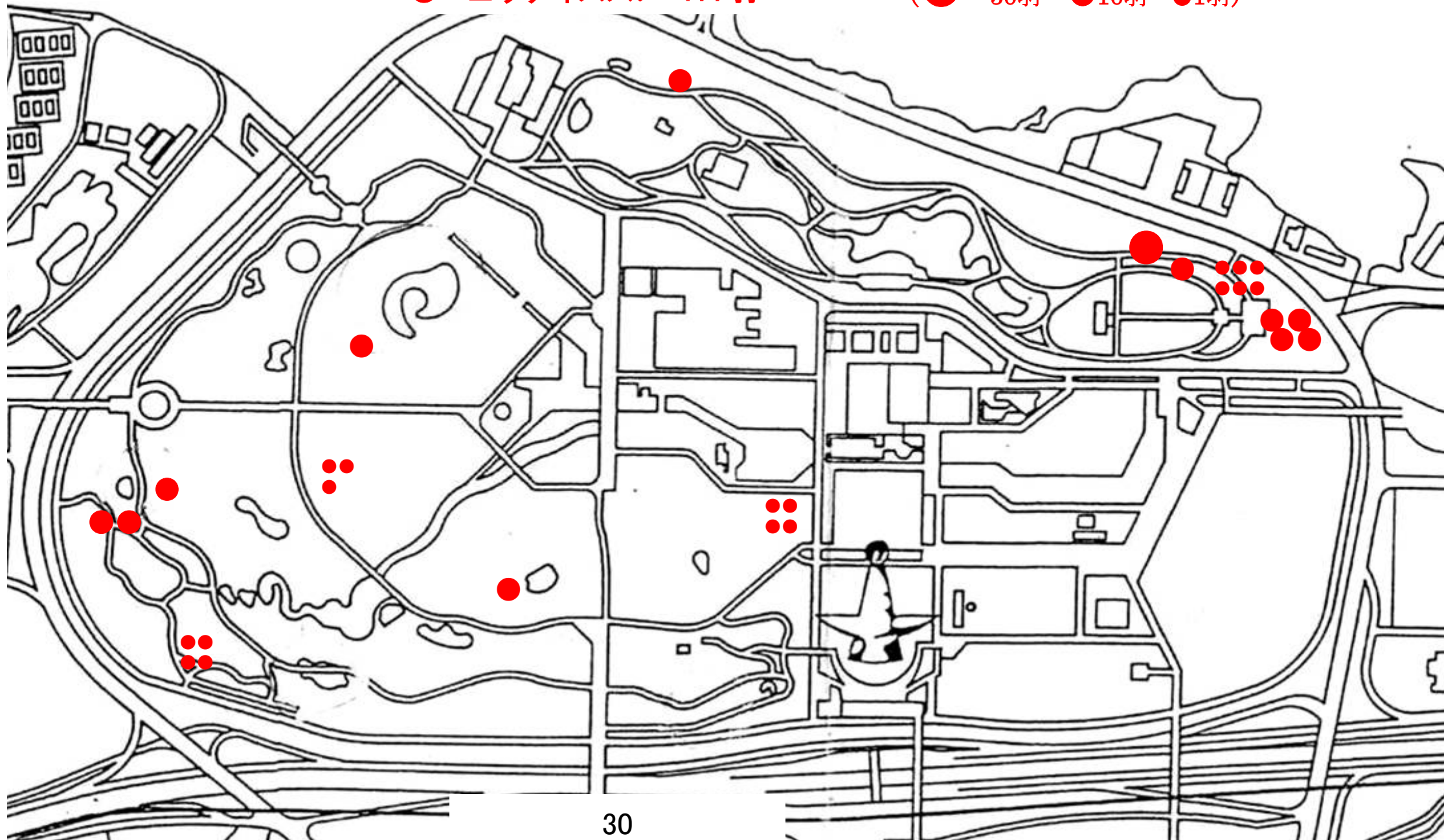


別図④-①

2023年春の渡り鳥 スズメ科

●ニューナイスズメ 177羽

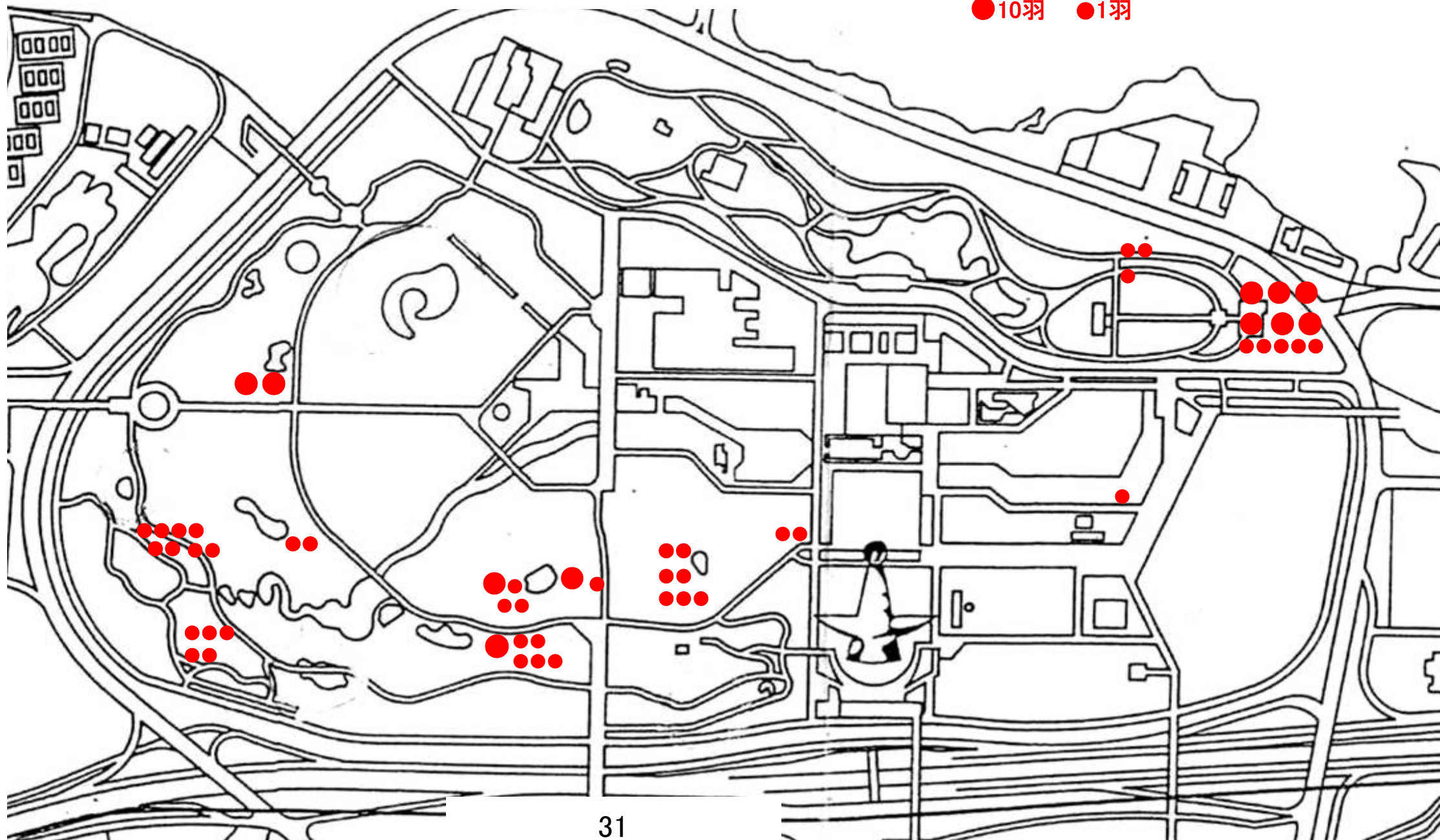
(● 50羽 ● 10羽 ● 1羽)



別図④ー② 2022年春の渡り鳥 スズメ科

●ニューナイスズメ 152羽

●10羽 ●1羽



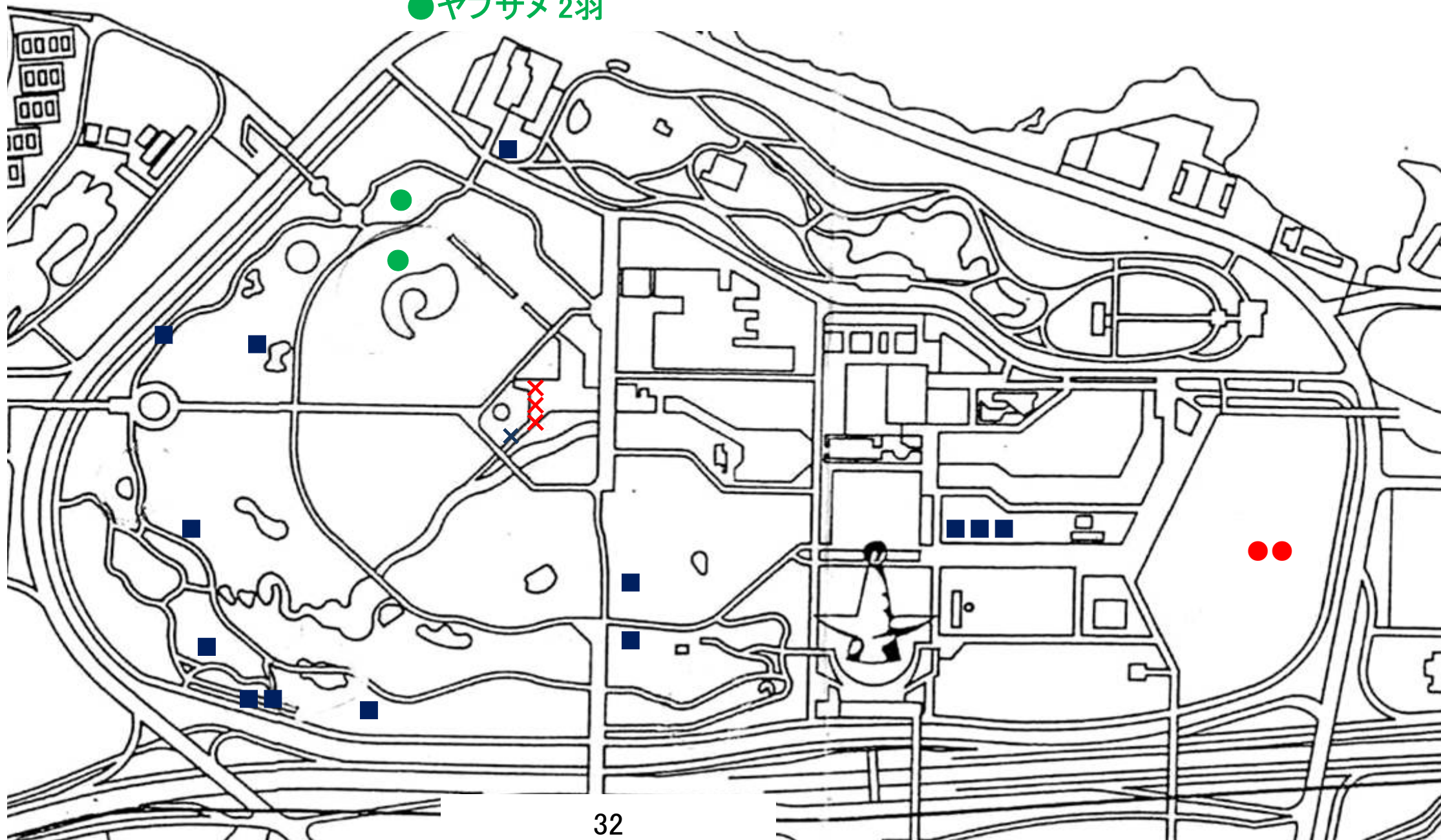
別図⑤ー① 2023年春の渡り鳥 その他の渡り鳥

●コチドリ 2羽

×タシギ3羽

■サンショウクイ 13羽

●ヤブサメ 2羽



別図⑤ー② 2022年春の渡り鳥 その他の渡り鳥

●コチドリ 2羽

×タシギ18羽

■サンショウクイ 2羽

×オオヨシキリ1羽

●ヤブサメ 1羽

